



宮原良治司教認可
発行所 福岡教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人
カトリック福岡教区三
編 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡教区
定価 一部60円

5月の意向
教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】報道における真実、連帯、人間の尊厳
【宣教】中国の教会
【日本の教会】日本における司祭召命の推進

聖香油ミサと司祭職制定を祝う



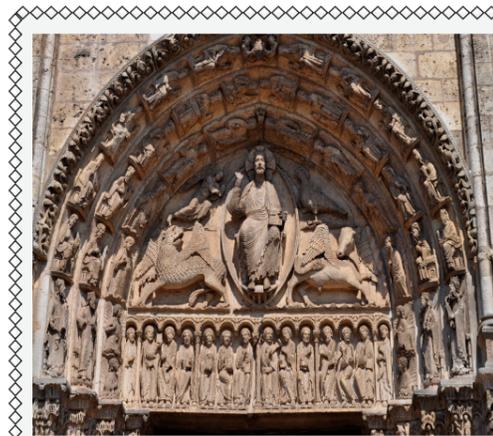
祭には預言者としての使命が与えられている。すなわちそれぞれの時代及び世の中の動きを識別してそこに福音の光を当て、神のみ旨を見出して...

たのではないか。人と人とのつながり、支え合い、分かち合いなど、本當の豊かさにつながることは何か物質的なものではない。砂漠ではマンナがなかった。しかし、確かに神が彼らの歩みを導いておられた。今日、私たちも主の祭壇を囲み、互いの交わりを深め、日本を、日本の教会を...

記念の年を祝った司祭方

- 60年のダイヤモンド祝
アルド・テンペリー二師
1951年7月1日ミラノ外国宣教会司祭として叙階。1956年に来日、1962年に福岡教区の鹿島教会や鳥栖教会を歴任後、管区長として...

「わたしは裸で母の胎を出た。裸でそこに帰ろう。主は与え、主は奪う。主の御名はほめたえられよ」(ヨブ1・21)。戦後、私たち日本人は焦土と化した国土を復興させ、高度な経済成長を遂げた。モノが溢れ、お金さえあれば何でも手に入り、宗教や信仰が私たちの生活を占める場所は、とても薄くなってしまった。しかし、今回の大災害を通して、私たちは計り知れないモノを失ってしまった。ヨブも同じように物質的な財産、家族、そして健康を失った。「どこになお、わたしの希望があるのか。誰がわたしに希望を見せてくれるのか。それはことごとく陰府に落ちた。すべては塵の上に横たわっている」(17・15-16)▼今この国を覆っている混沌、虚無、苦悶、死は、神の不在や罰の証明か。そうであるまい。一般にユダヤ人は、因果応報的な考え方を持っていた。すなわち、苦悩や死は人間の罪の結果である、と。しかし、ヨブは、こう宣言する。「わたしは知っている。わたしを贖う方は生きておられ、ついに塵の上に立たれるであろう」(19・25)▼死は、多くの親しい人々との別れを意味する。神との交わりも同じように絶たれるのか。ヨブが、「神は生きておられ、ついに塵の上に立たれるであろう」という時、闇から光へ、死から生命へ、混沌から秩序へ、苦悩から喜びへと変えて下さる方の存在を信じて疑わない。神は死や苦悩を超えて人を生かす者である限り、塵の上に立たれたこの方に信頼し、そこで真の神と出会い、生きるこの意味を教えらるるのである。



キリストは復活し私たちと共におられる アレルヤ!

東日本大震災関連「福岡教区・被災者支援室」

4月18日(月)午後、司教館で「福岡教区・被災者支援室」の会議が行われた。4月7日付けで、被災者にたいするホームステイ・住宅提供等のお願いを4月12日締切りで行っていた件につき、福岡地区、北九州地区、佐賀地区、熊本地区それぞれから提供の申し出があり、内容の集計と確認を行った。①支援室担当者で各々の提供者に詳細確認の上、自治体の窓口へ登録することになる。②被災者から利用の申し出があった場合、各自治体を通して支援室へ連絡を受ける。③支援室の地区担当者を通して提供者へ連絡があり、条件等が確認できた段階で、受け入れることになる。\*住宅提供等の情報は各小教区を通して行なわれたが、受入れ決定後も主任司祭と連絡をみつにしながら小教区共同での関わりが必要となる旨が話し合われた。\*被災地ボランティアについても検討が行われた。仙台サポートセンターと連携を取りながら、第1陣として連休明けの週を視野に、男性7人を募集することになった。\*2人の司祭が同行し、往復の行程を入れて4日間を予定するなど話し合われた。

同級生4人が銀祝

- 3司祭が50年の金祝
ヨアキム平田敬師
1954年福岡サン・スルピス大神学院入学。1961年3月19日今村教会にて司祭叙階。大楠教会、呼子教会、戸畑教会、久留米教会、西新教会を経て2001年から小倉教会及び付属幼稚園園長を務める。2010年より佐賀教会主任。

たかという、足りないことや、反省すべきこと、迷惑をかけたことも多々あったと思います。しかし、そんな中でも、その出会いの中で、信仰の恵みを体験させて頂きました。信仰は神との出会いであるとも言われます。そうであれば、沢山の人の出会いの中で、その方々を通して神様とも出会わせて頂いたのではないかと思います。それを思うとき、神様の計らいの優しさやあわれみを感じます。それは、また私にとっては神様の働きへの驚きと感謝でもあります。神に感謝。そして、これまで、また、これから出会うすべての人に感謝いたします。カトリック健康教会主任

2010年の福岡教区現勢

2010.1.1 ~ 12.31

Table with columns for church names, membership numbers (in籍信徒数), deaths (死亡者数), transfers (転入/転出), baptisms (幼児洗礼/成人洗礼), and other statistics. Includes a summary row for the entire region.

信者総数30,393人・司祭96人・助祭2人・修道士4人・小神学生4人・修道女389人が入ります。

みことばの広場

万物は神から神によって神へ
ローマ書 11-36

パウロと同様に、死をとおして人のいのちは新たな段階に入っていくと考えたほうが筋

私のおまじないが虚無に帰すわけではないと、信頼をこめて言いたいのです。むしろ、

が通ると言えましょう。たしかに、主イエスは十字架の死の苦しみを乗り越える道を示しています。さらには、少しさかのぼりますが、ちょうど今から30年前に教皇ヨハネ・パウロ二世が訪日し(1981年)、その印象があまりにも鮮烈で、中学受験を控えて小学6年生の身でそれ相応の苦勞をしてきた自分にとってキリスト教信仰の世界的指導者の臨在は、人生の何らかの転機にもつながりました。幼いころに母親からアグネス・チャンのレコードを毎日聴かされて

育ったことも手伝って、訪日した教皇ヨハネ・パウロ二世を迎えたヤング&ポープの集いの際にアグネスが司会をしていた模様もテレビで観て心に残りました。要するに「教皇の印象」と「死への恐怖」が筆者のキリスト教信仰の目覚めの基礎となっていたと言えるのです。その後、1987年に上智大学文学部哲学科でラテン教父思想(アウグスティヌス、トマスやドイツ神秘思想(エックハルト)の研究を深めるうちに、両者の根底に据えられていたギリシア教父思想の重

要性にも気づくようになり、神学部編入してからは、世紀の三位一体論を専門的に学び、神学博士の学位を取得しました。今に至るまで、そのうですが「教皇の滋味豊かな思想」に魅せられています。迫害の最中であって、死の恐怖にさらされたとしても、神に信頼して感謝のうちに祈りを捧げて讃美の人生を送った教父たちの姿勢を真似ていきたいと常々思います。

「万物は神から神によって神へ」(ローマ11・36)。その昔、1994年に神

ちょっと一息



\* 喧嘩したあとのカレーが辛すぎる \* 脇役が目立つちゃいかん紅しようが 坂牧春妙 深堀正平



9日間の旅行の中では心の痛む事、心癒される事、神父様のご家族のおもてなしの心、私達かともすると忘れかけそうな事をたくさん体験しました。 今回の巡礼は寺院も世界遺産も盛りだくさん。そこには神父様のスリランカを体験して欲しい、知って欲しいとおもてなしの心が溢れんばかりでした。 神様に感謝 古賀教会信徒 天村朋子



イタリアからも応援のメッセージに、ローマカトリック日本人会主催でチャリティコンサートを開催、400人が集まりました。募金も6000ユーロ以上が集まりましたが、スタッフは皆、金額云々ではなく、何かの形で、自分にできる協力をしながら被災者の方々と心の共有ができたこと、そして、多くの人と集えたことがうれしかったという感想です。ローマ市も日本がなればと応援しています。被災者が、福岡の皆さんが、前を向いて共に歩んでいけたらと祈り続けています。

神の前で生と死を考える集い
②6月25日(土)17時~26日(日)15時 指導:シスター高木慶子(援助修道会)
③9月10日(土)16時~11日(日)15時 指導:来住英俊神父(御受難会)
カトリック福岡黙想の家
カトリック御受難修道会・宗像修道院 ネットで検索 福岡黙想の家
811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222 Fax 0940-32-3385

ミサ用ワイン
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)
ご用命 お問い合わせは 有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰
〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

草苑
カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

被災地ボランティアに参加して

4月6日と7日、宮城県塩釜市でボランティア活動に参加した。

塩釜教会にカリタスジャパンのボランティアベースがおかれている。市の社会福祉協議会のボランティアセンターに登録し、そこから依頼先に行き活動した。

初日は地元男女学生6人と共に、1階部分が浸水した住宅・店舗の泥かきと使えなくなった家具の運び出しをした。屋内には水と油を含んだ泥が20センチ近く堆積していた。濡れた畳を運ぶのにかなり苦労した。

昼食時は乾いた所を見つけて腰を下ろし、持参したパンをほおばった。皆泥まみれだった。学生たちは連日ボランティアセンターに来て、片付けを手伝っているという。

彼らのうちに、塩釜を必ず復興させるという強い思いを感じた。活動を終えてベースに戻ると、当番の方が準備してくれた夕食を共にいただく。夕食後にはミーティングが行われた。今日の活動の感想を述べたり、課題などを出し合った。

塩釜教会には入れ替わりながら20人前後のボランティア

こんにちは、始めまして！  
カプチン・フランシスコ修道会



Fr. MONIS, Edwin



Br. 橋谷保憲

聖フランシスコの第一会は3つの家族に分かれています。フランシスコの小さき兄弟会、コンヴェンツァーの小さき兄弟会、そしてカプチンの小さき兄弟会です。それぞれの兄弟会は聖フランシスコ

の会則に従っていますが、そのカリスマや特性という点では異なったものがあります。私たちは「カプチンの小さき兄弟会」として知られる、3番目の家族のメンバーです。

基本的には聖フランシスコの生活の規則に従って生きていくわけですから、同じようなカリスマを持っています。

それはまず、祈りと兄弟的生活様式を土台とし、私たちが宣教活動を展開する地域にあつて、キリストの愛の福音の良き知らせを、貧しい人々、助けを必要としている人々、

底辺に生きる人々に優先的にもたらしたいと強く望んでいます。もちろん、3つの家族はそれぞれが他とはこのように違っているといったように、明白な違いを取り出して見せることはできません。聖フランシスコの生活の規則をどのように生きるかということに、様々な要素が絡み合い、それぞれの家族は独特の「香

かと思えます。福岡教区に受け入れていただいたカプチン会士として、橋谷保憲修道士と共に、共同体と小教区での活動を通して神に仕えようと、一生懸命努力し、いつもみな様と共にありたいと思えますので、よろしくお願ひ致します。

カトリック高宮教会主任 エドウィン モニス神父  
橋谷保憲修道士

さんには作業している私たちに何度も頭を下げて、「ほんとうに助かります」と礼をおっしゃる。その姿を見るのがつかつかた。失ったものの大きさ、今後直面することになる生活再建の険しい道のりを思う。作業を終えて、空っぽになった自宅の前に立っておられる家主さんに、「お体に気をつけてください」と言うのがやっとだった。

二日目の夜、宮城県沖でM7.1の地震が発生し、震度6弱の揺れが塩釜を襲った。津波警報のサイレンが鳴り響

いた。私たちは高台まで走って避難した。塩釜の人たちには、あの日の恐ろしい記憶が呼びさまされたことだろう。被災地の人々が物心両面に負った傷は大きく、深い。彼らはいま、悲しみをこらえ、懸命に前に進むようとしている。また被災した人々を支え、共に歩もうとしている人たちがいる。彼らのことを思い、これからも祈り続けたい。そして自分にできることを行っていく。

福岡教区新任教職員辞令交付式



3月31日、今年、福岡教区のカトリック幼稚園に就職する14人の教師と職員への辞令交付式がカテドラルで行なわれた。

先輩教師60人ほどが参列する中で、理事長の宮原良治司教から一人ひとりに辞令が渡された。また、司教は「カトリック幼稚園で働く教師の心構え」について講話を行い、その中で「しる」には2つの意味がある、一つは「頭で学ぶ」知る、一つは「心で生きる」通して学ぶ、と語り、

午後には大石淑子氏（高宮カトリック幼稚園）が「新任教師に望むこと」というテーマで講演。「幼児期に獲得されたものはその後の成長のすべての基礎になる」、「子ども一人ひとりとは全く異なる人格なので、毎年同じことは通用しない」、「教師の言葉遣いや振舞い、あるいは価値観までも子どもに移されていくので、教師の人格的成熟が求められる」と、長い幼児教育の体験から語った。

旧ザビエル聖堂再建途中の祝福式



4月10日（日）14時から宗像黙想の家の一角に建設中の「ザビエル旧聖堂中期祝福式」が行われた。

鹿兒島大学フロイデコーロOBの皆さんによるお祝いの合唱で開式。宮原良治司教の司式に、郡山司教と大型バスに乗り合わせて参加した鹿兒島教区の信徒など400人が集い建設の途中経過を確認した。式の中

で、この日に向けて新垣王敏氏が指揮をとるザビエル合唱団によるザビエル賛歌が花を添えた。建設の指揮を執っているNPO法人文化財保存工芸研究室理事長の土田充義氏が所属する茶山教会の信徒も巡礼をかねて参加していた。茶山教会信徒の萩原繁樹さんは「自分ができるところを探し、何でもいから捧げなさい」と土田さんが話していました。一生懸命奉仕している皆さんの姿に誰かがこの世を変えてくれるのでなく私たちが、私がおかをしなければいけない、と神様に教えられた巡礼でしたと語っていた。

シンポジウムのお知らせ

テーマ：信教の自由と政教分離  
サブテーマ：9条とともに大切な憲法20条  
日時：5月21日（土）13時半～16時半  
場所：カトリック小倉教会聖堂  
講師：溝部脩司教（前高松教区長）＝国是と信教の自由  
谷大二司教（さいたま教区長）＝憲法20条入門  
森上洋介牧師（日本イエス・キリスト教団小倉教会）＝神様を無視するこの世の権威  
資料代：3000円/主 催：シンポジウム実行委員会  
共催：小倉カトリック教会・北九州信徒協・キリスト者九条の会・Mの会・ACO・カトリック20条の会  
問合せ先：FAX (093) 622-1290  
【山元神父より】  
「政教分離」ということを正しく理解しましょう。なぜか政治と宗教は関係がないと思ったり、宗教は政治に関わるべきではないと誤解されています。これは死活問題なのです。シンポジウムに是非ご参加下さい。

一人ひとりとは全く異なる人格なので、毎年同じことは通用しない、「教師の言葉遣いや振舞い、あるいは価値観までも子どもに移されていくので、教師の人格的成熟が求められる」と、長い幼児教育の体験から語った。

を改めていき、毎日子どもたちを笑顔で迎えていきたいと思えます。そして、楽しい雰囲気保育が出来るように日々の準備をしつかり行っていきたく思っています。子どもたちが、幼稚園を楽しいと思ってくれるように、毎日真剣に取り組んでいきます」と話した。

☆教えるところ  
新しい時代の教育への提言  
今道友信 著  
「人には得手不得手というものはある。それは当然のことだが、子どものころから、それぞれの分野において『選り抜いて』エリートとして教育していく必要がある、そうしなければその分野ではなくそれ以外の子どもが駄目になってしまう。中略 その子どもの優れたところを見ず、ただ学力だけを見ては勉強の苦手な子どもへの扉を狭いものとしてしまふ。』...あとがきより：目からウロコの具体的な体験を交えて教育に対する篤い思いを語る貴重な提言集。  
女子パウロ会発行  
税込定価 2415円  
☆キリスト教理解のために  
カトリック教育にかかわるすべての人に  
日本カトリック学校  
教育委員会・編  
本書は「キリスト教の根幹について」の声をこたえるために編まれた。補足説明や意見交換をしながら活用されることを願っています。また、一般の信徒や求道者、キリスト教に関心のあるすべての方にとっても、意義ある内容となっております。  
カトリック中央協議会出版  
税込定価 350円

なんでもお問合わせください  
株式会社 ジャパン・スマイルか  
TEL 092-781-8800  
http://www.info-japan.com

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション  
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。  
費用は医療、介護保険でのご利用になります。  
春日市上白水 5-11-102 092-517-6313  
福岡プライマリケア株式会社 代表：エリザベト熊谷

総合建築業  
・一般住宅（新築・改築工事）  
・鉄骨工事  
・RC工事  
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください  
株式会社 森山工務店  
ヨゼフ 森山 新太郎  
福岡市早良区四箇1丁目15番28号  
☎ (092) 811-7265

木との出会い 人との出会い 神との出会い  
セント・ポール  
FUKUOKA  
キリスト教書局・信心用具・ビデオ・DVD・CD  
福岡市中央区大馬路2丁目大名町カトリック教会1F  
平日 AM 10時～PM 5時40分  
日・祝日 AM 11時～PM 4時（休館日）  
TEL 092-2741488 FAX 092-2741481  
URL http://www.pax-inc.jp

ともに学び、祝い、生き、伝える家庭共同体

2011年福岡地区聖書講座

テーマ：福音 ～イエスとの出会い『マタイによる福音書』

プログラム

③5月15日「たとえ話」 古川健一神父(吉塚教会)
場所：カトリック大名町教会1階講堂
会費：1回500円/年間通し2000円
用意するもの：新約聖書(またはマタイ福音書)
主催：福岡地区信徒協働協議会 聖書部

2011年度北九州地区聖書講座

年間スローガン：ともに学び、生活の場で伝えよう
第一回：5月15日(日)14:00～16:30
講師：寺浜亮司神父(直方・田川教会主任司祭)
場所：カトリック小倉教会
参加費：無料
主催：北九州信徒協 問合せ先：093-293-4981 松尾隆

2011年 熊本地区神学講座

イエスを知り、イエスに生き、イエスを伝えよう～希望 喜びをもたらすミサ～
期間：2011年5月15日～11月20日(第3日曜日)
会場：カトリック手取教会
受講料：5,000円(全6回)部分参加は各回1,000円
申込み：手取教会(096-352-3030) 岸
主催：熊本地区神学講座実行委員会
5月15日：福音書に見られる聖体の制定とその前表 湯浅俊治(日本カトリック神学院養成者)
6月19日：食と救いー風土食(ふーど)の祈り 伊藤幸史(日本カトリック神学院養成者)
7月24日：ミサの中で自分をささげる 来住英俊(御受難会宗像修道院長)
9月18日：死と永遠のいのち 岩島忠彦(イエスス会上智大学教授)
10月16日：イエスを知り、イエスに生き、イエスを伝えよう 大山 悟(日本カトリック神学院養成者)
11月20日：《マザー・テレサと生きる》映画とトーク 千葉茂樹(映画監督 日本映画学校副校長)

世界広報の日/教区広報研修会

日時：2011年5月29日(日)14時
場所：カトリック大名町教会1階講堂
テーマ：共同体の『わ』と広がり
講師：下塚英知神父(長崎教区司祭)
対象：各教会広報担当者
主催：福岡教区広報委員会・福岡地区信徒協広報部

福岡地区「第二回教会学校担当者の集い」のご案内

日時：2011年6月19日(日)14:00～17:00
場所：カテドラル大名町教会・4階会議室
各教会の教会学校が抱えている問題点に焦点をあて、3教会のプレゼンテーション、小グループの分ち合い、全体での分ち合いという方法で進めてきます。
主催：福岡地区信徒協 召命・信仰育成部

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：5月21日、6月4日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂
\*基本的に第1・第3土曜日。変更の場合もあります。

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

2011年

案内板

会合と催し

5月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 5月

4月29日(金)～5月2日(月) 日本心身医学協会 研修
3日(火)～5日(木) クルシリヨ
7日(土)～8日(日) 一泊黙想会
14日(土) 紫苑com
15日(日) 黙想の家で折り語り合う集い(水巻教会)
19日(木) 日帰り黙想会
21日(土)～22日(日) 山口・島根地区信者養成研修会
28日(土)～29日(日) 後援会総会・黙想会
29日(日)～6月4日(土) CCR司祭黙想会
\*2面の黙想の家の広告も参照してください。

F811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222 渥940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
インターネットで検索 福岡黙想の家 検索

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：典礼暦年間で教会とともに祈る
・日時：5月12日(木)10時～14時半
・内容：復活節
指導者：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)
ダニエレ サルツィ・サルトリ神父
Sr.マリア・デ・ジョウルジ
問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター
・次回：6月9日(木) 聖霊降臨の祭日
☎0968・85・3100 渥0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

1日(日) 復活節第2主日(神のいつくしみの主日)
カテドラル献堂25周年記念(ヨハネ・パウロ二世教皇列福感謝)ミサ(14時)
3日(火) クルシリヨ(～5日) 憲法記念日
6日(金) 初金曜日(浄水通教会10時)
8日(日) 復活節第3主日/平田敬師司祭叙階50周年記念ミサ
老司教会ふれあいバザー
10日(火) 司祭評議会・司教顧問会
11日(水) 西日本司祭親善ソフトボール大会(熊本)
12日(木) 常任司教委員会/召命祈願ミサ(神学院19時半)
13日(金) 東北地方震災被災地視察
14日(土) ヨハネ・パウロ二世教皇列福感謝ミサ(東京)
15日(日) 復活節第4主日/世界召命祈願日/菊池教会堅信式
16日(月) 長崎教会管区青少年担当者会合
十中濱一男[2005年事務局長]
21日(土) 吉野天使幼稚園創立50周年特別講演会
22日(日) 復活節第5主日/聖体奉仕者養成講座(カテドラル)
テンペリー二師司祭叙階60周年記念ミサ
24日(火) 幼児教育連盟会合
25日(水) 十L. グローゼン[2006年八王寺]
28日(土) 高木善行師司祭叙階50周年記念ミサ
29日(日) 復活節第6主日/世界広報の日(献金)
在日フィリピン人研修会(真命山)/マリーコール記念公園祝福式
6月
1日(水) 「日本の教会の方向性と復興宣教のあり方」検討会
2日(木) 常任司教委員会
十ヨセフ松永次郎司教[2006年第5代福岡教区長]
十V. マテオ[2002年御受難会黙想の家]
主の昇天/古賀教会主任司祭就任式/震災被災者支援・教区代表者会議(カテドラル14時)

福岡

聖霊による刷新福岡祈りの集い(日時)毎週月曜11時から12時30分(場所)大名町教会1階(内容)賛美と感謝の祈り・聖書の分かち合い(代表)Br床嶋(問合せ先)☎092・521・2503 蓮尾
召命祈願ミサ(日時)5月12日(木)19時半から(場所)日本カトリック神学院福岡キャンパス
「こひつじ会」設立記念講演会(日時)5月14日(土)10時半から(場所)カトリック福岡黙想の家2階会議室(テーマ)精神科疾患とその治療(講師)三木浩司師小倉記念病院精神科医師(参加費)4500円(弁当代)(主催)紫苑COM(問合せ先)☎0940・333・2731 吉永
福岡結婚準備講座(日時)5月14日(土)から6月11日(土)18時半～21時の毎週土曜日の全5回(場所)カトリック大名町教会(参加費)カッパルで1万円(問合せ先)☎092・741・3687 ★原則11名で参加
カルメル在会集会(日時)5月16日(月)9時半(場所)福岡女子カルメル会(福岡市西区今宿(内容)ミサ・講話「完徳の道」(大テレ)
ジア著(指導)カルメル会司祭(問合せ先)☎097・551・1360 中林
虹の会(日時)5月21日(土)(場所)能古島(内容)年間一度の戸外での集いです。雨天決行(問合せ先)☎090・1162・6395 柴田須磨子
ザビエル合唱団練習日(日時)5月21日(土)13時半(場所)カトリック西新教会(問合せ先)☎080・5246・8395 橋本
グレゴリオ聖歌を歌う会(日時)5月24日(火)11時場所 聖クララ寮(福岡市南区)(内容)グレゴリオ聖歌ミサ(問合せ先)☎096・380・5686 堺敬子
召命を共に祈る会(日時)5月26日(木)14時から(場所)カトリック久留米教会
第53回福岡典礼聖歌研修会(日時)6月5日(日)13時半(場所)カトリック光丘教会(テーマ)復活節後の大祝日の聖歌(講師)深堀純氏(参加費)感謝献金(事務局)092・541・3730 松山
美野島司牧センター
ホームレスの方に手作りのお昼ごはん毎週火曜日10時30分
ホームレス支援夜回り(第一金曜日)20時●路上からア
北九州召命を共に祈る会(日時)5月19日(木)14時から(場所)カトリック小倉教会(内容)ミサ・ミーティング(指導)井手公平神父(門司教会主任)(問合せ先)093・963・2359 江口
小倉祈りの集い(日時)5月27日(金)13時半から15時(場所)カトリック小倉教会信徒会館2階(指導)ガブリエル神父(御受難修道会)(内容)「みことばを味わう」賛美と感謝の祈り(連絡先)☎090・3985・5209 松田裕子

熊本

熊本地区召命を共に祈る会(日時)5月19日(木)11時場所 カトリック健康教会(内容)カッパルと話し合い(問合せ先)☎0952・30・8347 吉武(次回)6月4日(土)
佐賀祈りの集い(日時)5月14日(土)10時半～12時 毎月第1土曜日(場所)佐賀カトリック会館(内容)ミサと祈り(問合せ先)☎0952・30・8347 吉武(次回)6月4日(土)

北九州

パートに入居した方を訪問第三土曜日13時(問合せ先)☎092・431・1419「アス神父
CLC信徒の使徒的養成コース(日時)6月10日(金)14時～12日(日)13時(場所)行橋いやしの家(内容)養成コース(テーマ)共同体の使命と識別～固有の召命を支え使命に寄り添う(指導)萱場基神父(イエスス会)(参加費)8,000円(資料代、宿泊費、食事代等)(主催)九州合同CLC(問合せ先)090・2586・2883 追立季治/携帯:080-1714-6652 追立真由美
これを書いてある4月18日、夜満月が本当に美しく輝いていました。あまりの美しさにしばし見とれておりました。電気などなかった時代の人々にとって月の美しさは格別だったことなのでしょう。しかし今は人工の光で自然の光はかき消されているといった感があります。いまこそ、この電気の使い方を考え直すときかもしれませんね。また、満月を見て「復活祭は春分の日が来て満月の次の日曜日」ということを思い出しました。すべての闇を照らす光よ、被災地に届け!

CLC信徒の使徒的養成コース
社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院
痛み相談室 いくま整骨院
HAPPY EASTER 主のご復活 おめでとうございます
サンパウロ福岡宣教センター

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベト田 清

社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院
総合産科医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院
〒830 8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL0942 35 3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

痛み相談室 いくま整骨院
平日: 9:30～12:00
14:30～20:00
土曜: 9:30～15:00
休診: 日曜・祝祭日
福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
Tel 092-884-0134
ペトロ 生熊公吉

HAPPY EASTER
主のご復活
おめでとうございます
サンパウロ福岡宣教センター
TEL 092-721-2032